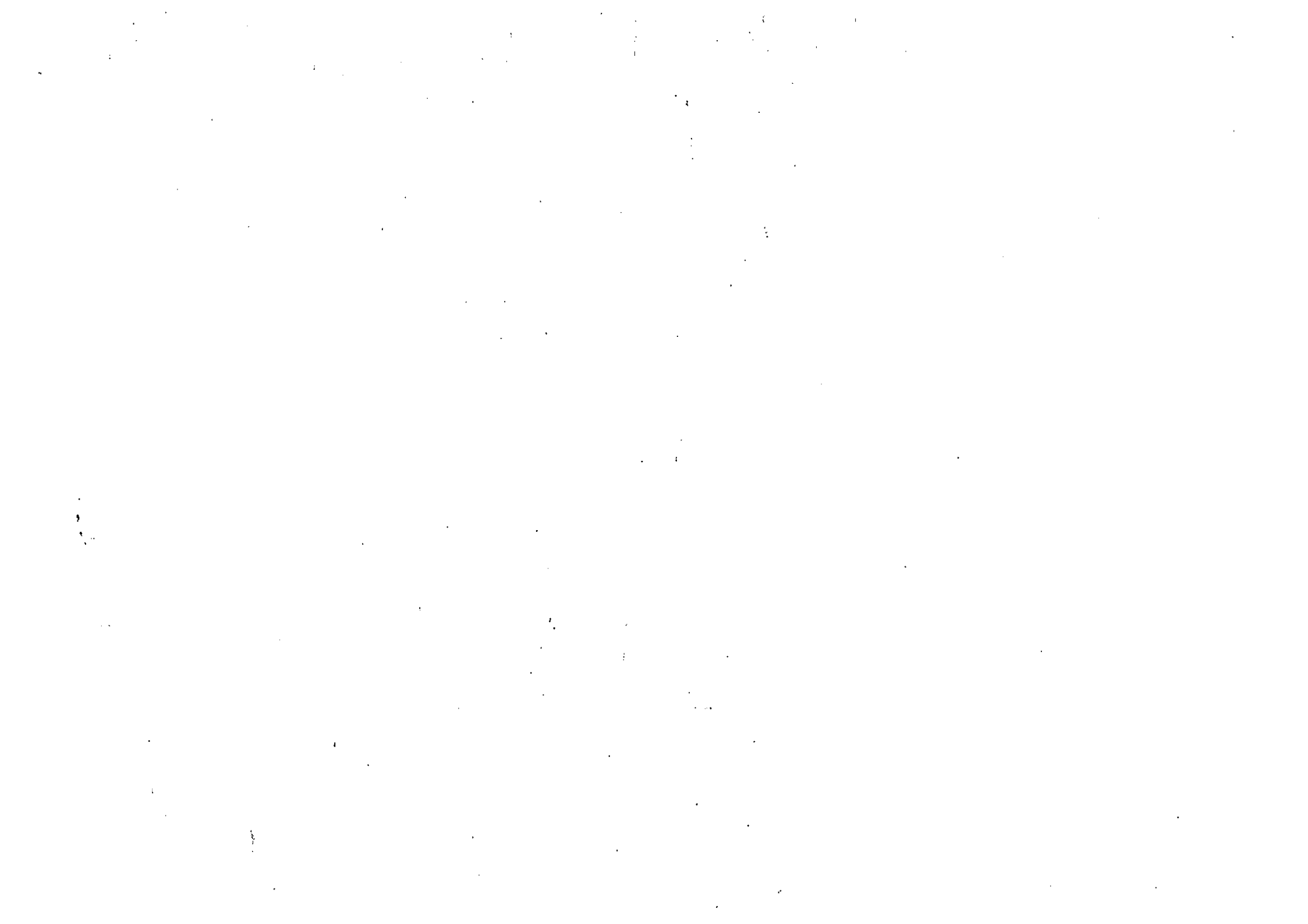


平成27年度

予 算 書

一 般 会 計
特 別 会 計
国民健康保険
後期高齢者医療
介護保険
公共下水道事業
生活排水処理事業
笠木簡易水道事業
水道事業会計

鹿 児 島 県 曾 於 市



○ 一般会計

予 算	1
第1表 歳入歳出予算	2
第2表 継続費	7
第3表 債務負担行為	8
第4表 地方債	9

○ 国民健康保険特別会計

予 算	11
第1表 歳入歳出予算	12

○ 後期高齢者医療特別会計

予 算	15
第1表 歳入歳出予算	16

○ 介護保険特別会計

予 算	19
第1表 歳入歳出予算	20

○ 公共下水道事業特別会計

予 算	23
第1表 歳入歳出予算	24
第2表 地方債	26

○ 生活排水処理事業特別会計

予 算	27
第1表 歳入歳出予算	28
第2表 地方債	30

○ 笠木簡易水道事業特別会計

予 算	31
第1表 歳入歳出予算	32
第2表 地方債	34

○ 水道事業会計

予 算	35
-----------	----



一 般 会 計



平成27年度曾於市一般会計予算

平成27年度曾於市の一般会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ23,100,000千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(継続費)

第2条 地方自治法第212条第1項の規定による継続費の経費の総額及び年割額は、「第2表 継続費」による。

(債務負担行為)

第3条 地方自治法第214条の規定により債務を負担する行為をすることができる事項、期間及び限度額は、「第3表 債務負担行為」による。

(地方債)

第4条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第4表 地方債」による。

(一時借入金)

第5条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、2,000,000千円と定める。

(歳出予算の流用)

第6条 地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 各項に計上した給料、職員手当及び共済費（貸金に係る共済費を除く。）に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

平成27年2月19日 提出

曾於市長 五位塚 剛

- 2 -
第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	項	金 額
1 市税		2,779,778
	1 市民税	1,029,987
	2 固定資産税	1,415,101
	3 軽自動車税	128,689
	4 市たばこ税	206,001
2 地方譲与税		225,100
	1 地方揮発油譲与税	70,000
	2 自動車重量譲与税	155,100
3 利子割交付金		3,800
	1 利子割交付金	3,800
4 配当割交付金		4,900
	1 配当割交付金	4,900
5 株式等譲渡所得割交付金		1,800
	1 株式等譲渡所得割交付金	1,800
6 地方消費税交付金		357,800
	1 地方消費税交付金	357,800
7 自動車取得税交付金		14,900
	1 自動車取得税交付金	14,900
8 国有提供施設等所在市町村助成交付金		1,200
	1 国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,200
9 地方特例交付金		8,100
	1 減収補てん特例交付金	8,100
10 地方交付税		8,750,000
	1 地方交付税	8,750,000
11 交通安全対策特別交付金		7,045
	1 交通安全対策特別交付金	7,045

(単位：千円)

款	項	金 額
12 分担金及び負担金		232,324
	1 分担金	16,135
	2 負担金	216,189
13 使用料及び手数料		292,461
	1 使用料	255,983
	2 手数料	36,478
14 国庫支出金		2,432,503
	1 国庫負担金	1,888,011
	2 国庫補助金	537,784
	3 委託金	6,708
15 県支出金		1,395,659
	1 県負担金	879,602
	2 県補助金	421,668
	3 委託金	94,389
16 財産収入		97,018
	1 財産運用収入	18,087
	2 財産売却収入	78,931
17 寄附金		210,703
	1 寄附金	210,703
18 繰入金		2,889,403
	1 基金繰入金	2,889,401
	2 他会計繰入金	2
19 繰越金		50,000
	1 繰越金	50,000
20 諸収入		129,006
	1 延滞金加算金及び過料	2,581

(單位：千元)

款	項	金額
	2 預金利子	345
	3 受託事業收入	3,879
	4 雜入	122,201
21 市債		3,216,500
	1 市債	3,216,500
歲入	合計	23,100,000

歳 出

(単位：千円)

款	項	金 額
1 議会費		211,955
	1 議会費	211,955
2 総務費		2,660,983
	1 総務管理費	2,176,533
	2 徴税費	257,138
	3 戸籍住民基本台帳費	139,062
	4 選挙費	44,523
	5 統計調査費	19,358
	6 監査委員費	24,369
3 民生費		6,872,204
	1 社会福祉費	4,114,610
	2 児童福祉費	2,070,868
	3 生活保護費	685,372
	4 災害救助費	1,354
4 衛生費		1,270,362
	1 保健衛生費	693,820
	2 清掃費	576,542
5 労働費		2,546
	1 労働諸費	2,546
6 農林水産業費		3,794,104
	1 農業費	3,616,837
	2 林業費	177,167
	3 水産業費	100
7 商工費		261,570
	1 商工費	261,570
8 土木費		2,107,621

(單位：千円)

款	項	金額
	1 土木管理費	167,753
	2 道路橋梁費	1,182,218
	3 河川費	25,455
	4 都市計画費	131,227
	5 下水道費	124,089
	6 住宅費	476,879
9 消防費		705,720
	1 消防費	705,720
10 教育費		2,176,103
	1 教育総務費	594,572
	2 小学校費	830,442
	3 中学校費	140,938
	4 幼稚園費	24,583
	5 社会教育費	465,541
	6 保健体育費	120,027
11 災害復旧費		29,702
	1 農林水産施設災害復旧費	20,489
	2 公共土木施設災害復旧費	9,213
12 公債費		2,977,130
	1 公債費	2,977,130
13 予備費		30,000
	1 予備費	30,000
歳出	合計	23,100,000

第2表 継続費

(単位:千円)

款	項	事業名	総額	年度	年割額
2 総務費	1 総務管理費	公共施設等総合管理計画策定事業	13,950	平成27年度	7,150
				平成28年度	6,800
2 総務費	2 徴税費	固定資産税評価替事業	20,007	平成27年度	3,591
				平成28年度	8,926
				平成29年度	7,490

第3表 債務負担行為

(単位:千円)

事 項	期 間	限 度 額
商工業者の設備投資資金に対する利子補給	平成28年度から 平成29年度まで	2,400
商工業者の経営改善資金(運転資金)に対する利子補給	平成28年度から 平成29年度まで	8,000

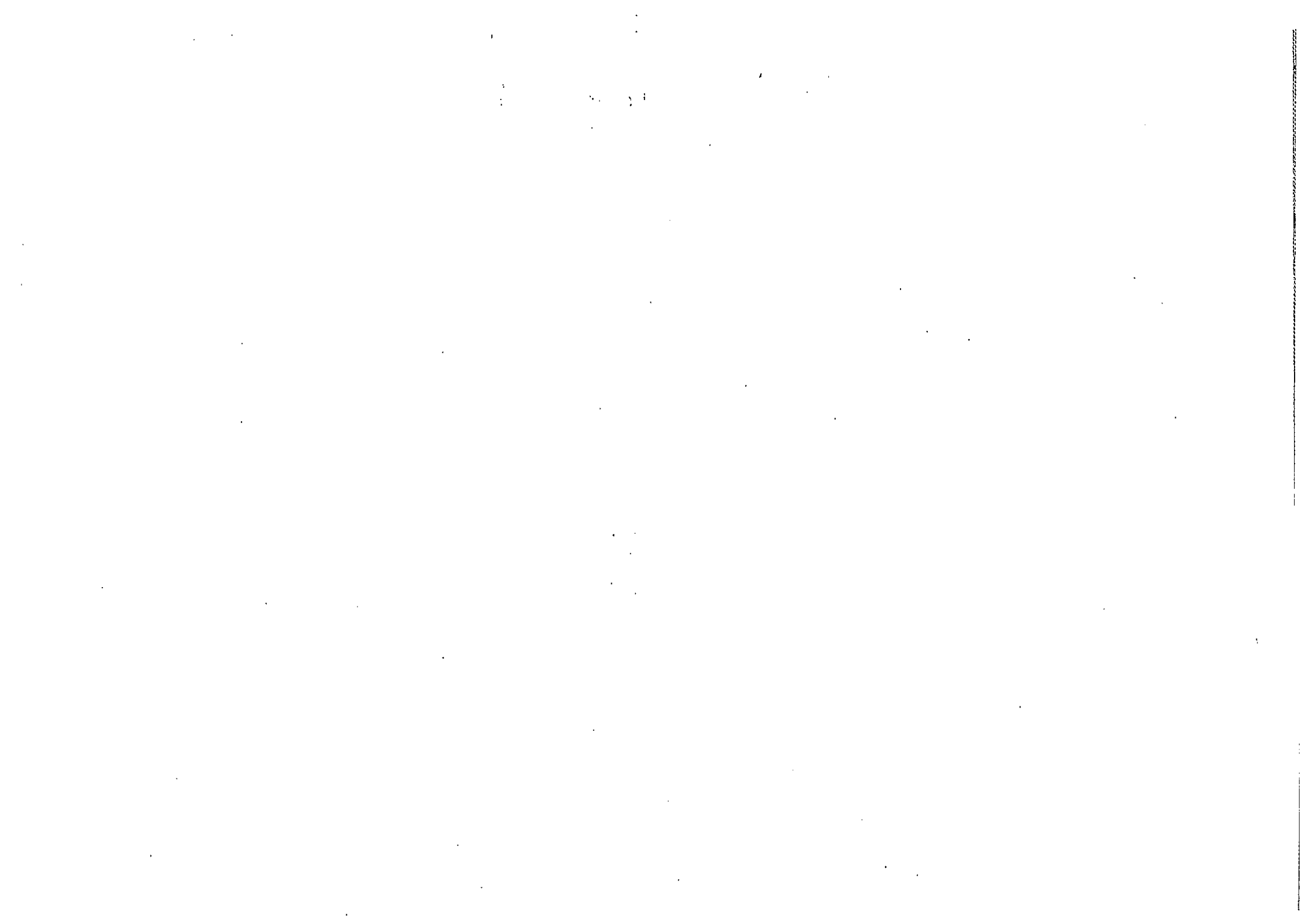
第4表 地方債

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
まちづくり基金造成事業	47,500	証書借入 又は 証券発行	5.0%以内(ただし、利率見直し 方式で借入れる政府資金及び地方 公共団体金融機構資金等につい て、利率の見直しを行った後にお いては、当該見直し後の利率)	政府資金については、その融資条件 により、銀行その他の場合にはその債 権者と協定するものによる。ただし、 市財政の都合により据置期間及び償還 期限を短縮し、又は繰上償還もしくは 低利に借換えすることができる。
定住促進対策事業	46,600	〃	〃	〃
コミュニティFM放送施設整備事業	372,500	〃	〃	〃
高齢者福祉事業	42,200	〃	〃	〃
少子化対策事業	50,700	〃	〃	〃
医療センター負担金	33,700	〃	〃	〃
県営畑地帯総合整備事業負担金	275,000	〃	〃	〃
県営中山間地域総合整備事業負担金	22,400	〃	〃	〃
県営特殊農地保全整備事業負担金	15,000	〃	〃	〃
県営農村振興総合整備事業負担金	22,000	〃	〃	〃

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
農業後継者等育成対策事業	14,100	証書借入 又は 証券発行	5.0%以内（ただし、利率見直し 方式で借入れる政府資金及び地方 公共団体金融機構資金等につい て、利率の見直しを行った後にお いては、当該見直し後の利率）	政府資金については、その融資条件 により、銀行その他の場合にはその債 権者と協定するものによる。ただし、 市財政の都合により据置期間及び償還 期限を短縮し、又は繰上償還もしくは 低利に借換えすることができる。
県営かんがい排水事業負担金	34,400	〃	〃	〃
県営農地整備事業（畑地帯担い手支援型）負担金	10,600	〃	〃	〃
谷川内ダム国営二期事業負担金	317,800	〃	〃	〃
道路改良整備事業	597,200	〃	〃	〃
排水路整備事業	96,900	〃	〃	〃
地域振興住宅建設事業	118,300	〃	〃	〃
消防防災施設整備事業	15,300	〃	〃	〃
消防車両導入事業	39,000	〃	〃	〃
臨時財政対策債	680,000	〃	〃	〃
小学校施設整備事業	365,300	〃	〃	〃

国民健康保険特別会計



平成27年度曾於市国民健康保険特別会計予算

平成27年度曾於市の国民健康保険特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ6,930,272千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(一時借入金)

第2条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、500,000千円と定める。

(歳出予算の流用)

第3条 地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 保険給付費の各項に計上した予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

平成27年2月19日 提出

曾於市長 五位塚 剛

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	項	金 額
1 国民健康保険税		846,335
	1 国民健康保険税	846,335
2 使用料及び手数料		110
	1 使用料及び手数料	110
3 国庫支出金		1,776,090
	1 国庫負担金	1,106,458
	2 国庫補助金	669,632
4 療養給付費等交付金		384,592
	1 療養給付費等交付金	384,592
5 前期高齢者交付金		1,486,721
	1 前期高齢者交付金	1,486,721
6 県支出金		351,633
	1 県負担金	42,427
	2 県補助金	309,206
7 共同事業交付金		1,534,917
	1 共同事業交付金	1,534,917
8 財産収入		1
	1 財産運用収入	1
9 繰入金		509,014
	1 他会計繰入金	509,014
10 繰越金		38,769
	1 繰越金	38,769
11 諸収入		2,090
	1 延滞金・加算金及び過料	13
	2 預金利子	1
	4 雑入	2,076
歳 入	合 計	6,930,272

歳出

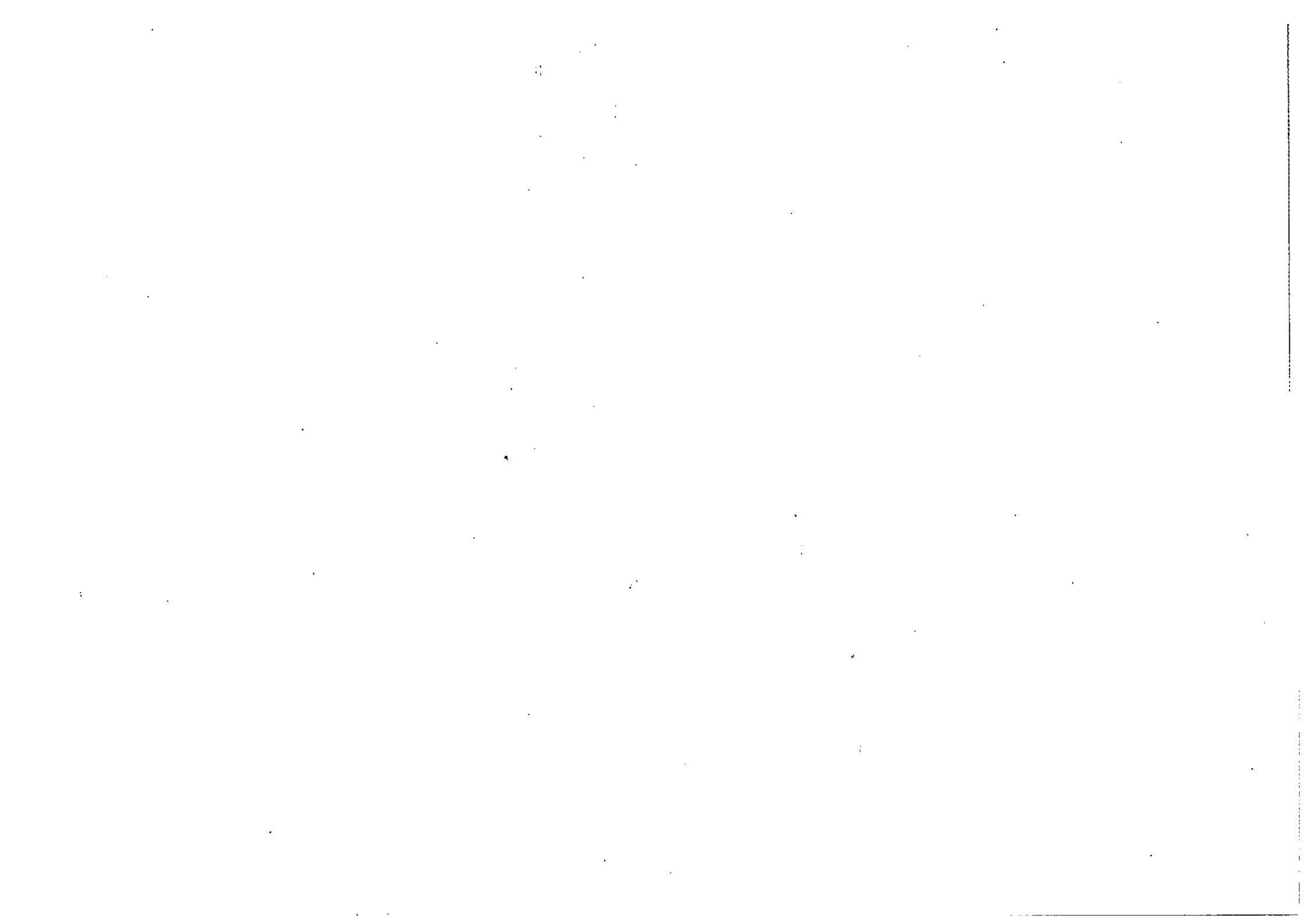
(単位：千円)

款	項	金額
1 総務費		67,570
	1 総務管理費	63,998
	2 徴税費	2,376
	3 運営協議会費	549
	4 趣旨普及費	647
2 保険給付費		4,320,164
	1 療養諸費	3,733,469
	2 高額療養費	562,495
	3 移送費	200
	4 出産育児諸費	21,000
	5 葬祭諸費	3,000
3 後期高齢者支援金等		612,357
	1 後期高齢者支援金等	612,357
4 前期高齢者納付金等		302
	1 前期高齢者納付金等	302
5 老人保健拠出金		60
	1 老人保健拠出金	60
6 介護納付金		268,460
	1 介護納付金	268,460
7 共同事業拠出金		1,577,232
	1 共同事業拠出金	1,577,232
8 保健事業費		68,914
	1 特定健康診査等事業費	30,070
	2 保健事業費	38,844
9 公債費		1,110
	1 公債費	1,110

(単位：千円)

款	項	金額
10 諸支出金		4,103
	1 償還金及び還付加算金	4,103
11 予備費		10,000
	1 予備費	10,000
歳 出 合 計		6,930,272

後期高齢者医療特別会計



平成27年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算

平成27年度曾於市の後期高齢者医療特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ536,731千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

平成27年2月19日 提出

曾於市長 五位塚 剛

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	項	金 額
1 後期高齢者医療保険料		262,641
	1 後期高齢者医療保険料	262,641
2 使用料及び手数料		11
	1 手数料	11
3 繰入金		273,516
	1 一般会計繰入金	273,516
4 繰越金		50
	1 繰越金	50
5 諸収入		513
	1 延滞金及び加算金	1
	2 償還金及び還付加算金	510
	3 預金利子	1
	4 雑入	1
歳 入 合 計		536,731

歳 出

(単位：千円)

款	項	金 額
1 総務費		27,642
	1 総務管理費	27,111
	2 徴収費	531
2 後期高齢者医療広域連合納付金		508,577
	1 後期高齢者医療広域連合納付金	508,577
3 諸支出金		512
	1 償還金及び還付加算金	510
	2 繰出金	2
歳 出	合 計	536,731

介 護 保 険 特 別 会 計



平成27年度曾於市介護保険特別会計予算

平成27年度曾於市の介護保険特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ5,216,129千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(一時借入金)

第2条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、500,000千円と定める。

(歳出予算の流用)

第3条 地方自治法第220条第2項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 保険給付費の各項に計上した予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用。

平成27年2月19日 提出

曾於市長 五位塚 剛

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

(単位：千円)

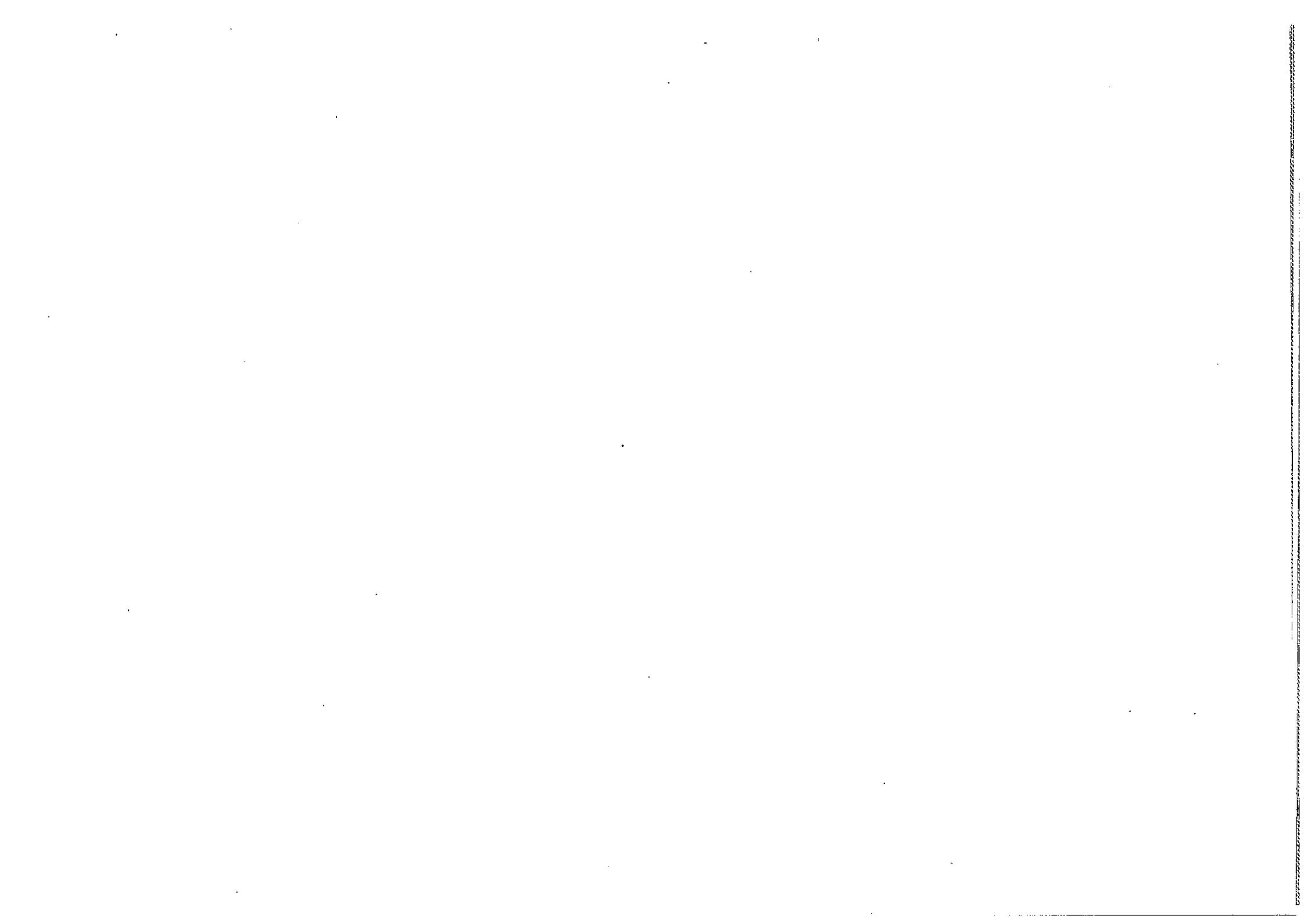
歳 入	款	項	金 額
			775,709
1 保険料			775,709
		1 介護保険料	20
2 使用料及び手数料			20
		1 手数料	1,484,592
3 国庫支出金			891,270
		1 国庫負担金	593,322
		2 国庫補助金	1,393,172
4 支払基金交付金			1,393,172
		1 支払基金交付金	735,993
5 県支出金			720,219
		1 県負担金	15,774
		2 県補助金	814,361
6 繰入金			784,361
		1 一般会計繰入金	30,000
		2 基金繰入金	10,000
7 繰越金			10,000
		1 繰越金	6
8 諸収入			2
		1 延滞金加算金及び過料	1
		2 預金利子	3
		3 雑入	2,124
9 分担金及び負担金			2,124
		1 負担金	152
10 財産収入			152
		1 財産運用収入	5,216,129
歳 入	合 計		

歳出

(単位：千円)

款	項	金額
1 総務費		149,782
	1 総務管理費	87,494
	2 徴収費	632
	3 介護認定審査会費	61,656
2 保険給付費		4,958,433
	1 介護サービス等諸費	4,257,906
	2 介護予防サービス等諸費	278,059
	3 その他諸費	4,990
	4 高額介護サービス等費	129,000
	5 高額医療合算介護サービス等費	23,600
	6 特定入所者介護サービス等費	264,878
3 地域支援事業費		85,061
	1 介護予防事業費	18,183
	2 包括的支援事業・任意事業費	66,878
4 基金積立金		153
	1 基金積立金	153
5 公債費		1,110
	1 公債費	1,110
6 諸支出金		6,052
	1 償還金及び還付加算金	6,051
	2 繰出金	1
7 予備費		15,538
	1 予備費	15,538
歳出	合計	5,216,129

公共下水道事業特別会計



平成27年度曾於市公共下水道事業特別会計予算

平成27年度曾於市の公共下水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ203,192千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(地方債)

第2条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表 地方債」による。

(一時借入金)

第3条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、177,000千円と定める。

平成27年2月19日 提出

曾於市長 五位塚 剛

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	項	金 額
1 分担金及び負担金		4,541
	1 負担金	4,541
2 使用料及び手数料		39,761
	1 使用料	39,750
	2 手数料	11
4 繰入金		124,089
	1 他会計繰入金	124,089
5 繰越金		1,000
	1 繰越金	1,000
6 諸収入		1
	1 預金利子	1
7 市債		33,800
	1 市債	33,800
歳 入	合 計	203,192

歳 出

(単位：千円)

款	項	金 額
1 公共下水道事業費		71,226
	1 公共下水道事業費	71,226
2 公債費		131,240
	1 公債費	131,240
3 予備費		726
	1 予備費	726
歳 出	合 計	203,192

第2表 地方債

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
公共下水道事業債	18,000	証書借入 又は 証券発行	5.0%以内(ただし、利率見直し 方式で借入れる政府資金及び地方 公共団体金融機構資金等につい て、利率の見直しを行った後にお いては、当該見直し後の利率)	政府資金については、その融資条件 により、銀行その他の場合にはその債 権者と協定するものによる。ただし、 市財政の都合により据置期間及び償還 期限を短縮し、又は繰上償還もしくは 低利に借換えすることができる。
資本費平準化債	15,800	〃	〃	〃

生活排水処理事業特別会計



平成27年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算

平成27年度曾於市の生活排水処理事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ114,626千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(地方債)

第2条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表 地方債」による。

(一時借入金)

第3条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、40,000千円と定める。

平成27年2月19日 提出

曾於市長 五位塚 剛

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	項	金 額
1 分担金及び負担金		6,612
	1 分担金	6,611
	2 負担金	1
2 使用料及び手数料		41,507
	1 使用料	41,506
	2 手数料	1
3 国庫支出金		15,417
	1 国庫補助金	15,417
4 県支出金		1,152
	1 県補助金	1,152
5 財産収入		13
	1 財産運用収入	13
6 繰入金		26,923
	1 他会計繰入金	26,923
7 繰越金		1
	1 繰越金	1
8 諸収入		1
	1 預金利子	1
9 市債		23,000
	1 市債	23,000
歳 入	合 計	114,626

歳 出

(単位：千円)

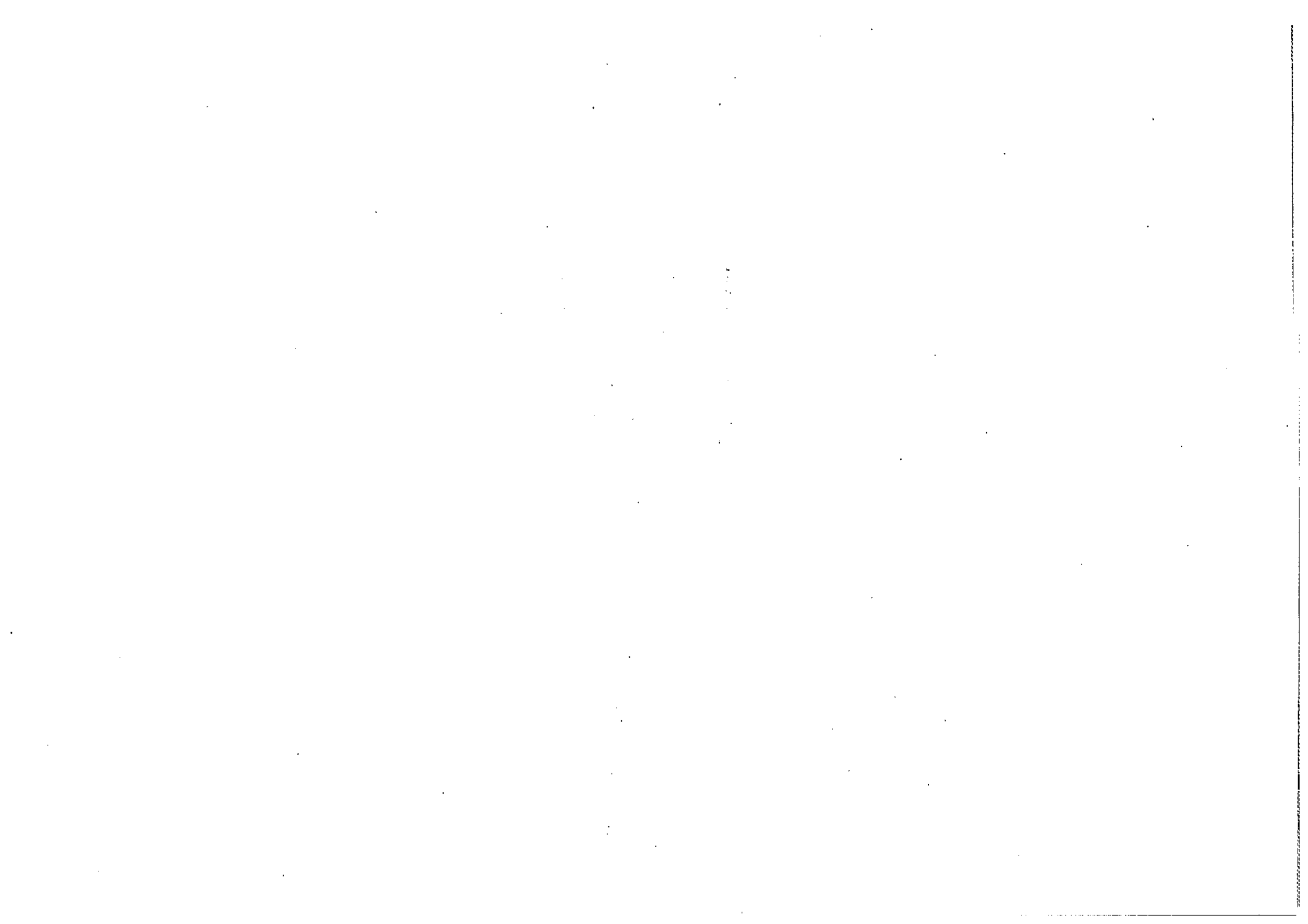
款	項	金 額
1 総務費		48,085
	1 総務管理費	11,147
	2 施設管理費	36,938
2 生活排水処理事業費		47,652
	1 浄化槽市町村整備推進事業費	47,652
3 公債費		18,389
	1 公債費	18,389
4 予備費		500
	1 予備費	500
歳 出	合 計	114,626

第2表 地方債

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
生活排水処理事業債	23,000	証書借入 又は 証券発行	5.0%以内(ただし、利率見直し 方式で借入れる政府資金及び地方 公共団体金融機構資金等につい て、利率の見直しを行った後にお いては、当該見直し後の利率)	政府資金については、その融資条件 により、銀行その他の場合にはその債 権者と協定するものによる。ただし、 市財政の都合により据置期間及び償還 期限を短縮し、又は繰上償還もしくは 低利に借換えすることができる。

笠木簡易水道事業特別会計



平成27年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計予算

平成27年度曾於市の笠木簡易水道事業特別会計の予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算)

第1条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ221,257千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第1表 歳入歳出予算」による。

(地方債)

第2条 地方自治法第230条第1項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第2表 地方債」による。

(一時借入金)

第3条 地方自治法第235条の3第2項の規定による一時借入金の借入れの最高額は、169,400千円と定める。

平成27年2月19日 提出

曾於市長 五位塚 剛

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入

(単位：千円)

款	項	金 額
1 分担金及び負担金		8,496
	1 分担金	6,850
	2 負担金	1,646
2 使用料及び手数料		4,639
	1 手数料	255
	2 使用料	4,384
3 繰入金		3,552
	1 他会計繰入金	3,552
4 諸収入		8,669
	1 預金利子	10
	2 雑入	8,659
5 市債		195,900
	1 市債	195,900
6 繰越金		1
	1 繰越金	1
歳 入	合 計	221,257

歳 出

(単位：千円)

款	項	金 額
1 簡易水道事業費		217,205
	1 簡易水道事業費	217,205
2 公債費		3,552
	1 公債費	3,552
3 予備費		500
	1 予備費	500
歳 出	合 計	221,257

第2表 地方債

(単位：千円)

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
簡易水道事業債	195,900	証書借入 又は 証券発行	5.0%以内(ただし、利率見直し 方式で借入れる政府資金及び地方 公共団体金融機構資金等につい て、利率の見直しを行った後にお いては、当該見直し後の利率)	政府資金については、その融資条件 により、銀行その他の場合にはその債 権者と協定するものによる。ただし、 市財政の都合により据置期間及び償還 期限を短縮し、又は繰上償還もしくは 低利に借換えすることができる。

水道事業会計



平成27年度曾於市水道事業会計予算

(総 則)

第1条 平成27年度曾於市水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

- | | | |
|-----|---------|--------------------------|
| (1) | 給水戸数 | 14,301戸 |
| (2) | 年間総給水量 | 3,726,495 m ³ |
| (3) | 1日平均給水量 | 10,182 m ³ |

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収	入
第1款 水道事業収益	548,697千円	
第1項 営業収益	497,345千円	
第2項 営業外収益	51,337千円	
第3項 特別利益	15千円	
	支	出
第1款 水道事業費用	526,694千円	
第1項 営業費用	461,788千円	
第2項 営業外費用	57,880千円	
第3項 特別損失	6千円	
第4項 予備費	7,020千円	

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び資本的支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額249,960千円は過年度分損益勘定留保資金210,660千円、建設改良積立金20,000千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額19,300千円で補てんするものとする。）。

	収	入
第1款 資本的収入	105,500千円	
第1項 企業債	105,500千円	
	支	出
第1款 資本的支出	355,460千円	
第1項 建設改良費	266,733千円	
第2項 企業債償還金	88,727千円	

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
水道事業債	105,500千円	証書借入又は 証券発行	5.0%以内（ただし、 利率見直し方式で借入 れる政府資金及び地方 公共団体金融機構資金 等について、利率の見 直しを行った後におい ては、当該見直し後の 利率）	政府資金については、その 融資条件により、銀行その 他の場合にはその債権者と 協定するものによる。ただ し、市財政の都合により据 置期間及び償還期限を短縮 し、又は繰上償還もしくは 低利に借換えすることがで きる。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第6条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 83,457千円

(他会計からの補助金)

第7条 営業補助のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は50,598千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第8条 たな卸資産の購入限度額は、674千円と定める。

平成27年2月19日 提出

曾於市長 五位 塚 剛

